7. 承認

1 概要

承認依頼者から、自身が承認者に指定された取引について、承認または差戻しすることができます。 また、一括承認機能により、複数の取引を一度に承認することも可能です。 なお、承認操作は各業務とも共通の手順ですので、ここでは、「仕向送金」を例に説明します。

仕向送金	仕向送金の承認依頼について、承認または差戻しすることができま す。
輸入信用状開設	輸入信用状開設の承認依頼について、承認または差戻しすることが できます。
輸入信用状条件変更	輸入信用状条件変更の承認依頼について、承認または差戻しするこ とができます。
	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •



操作手順(仕向送金を例とします)

2.1 取引の承認/差戻し

2.1.1 メニューを表示して、 [承認] > [仕向送金] を選択します。

2.1.2 承認待ち取引一覧を表示します。 🖟



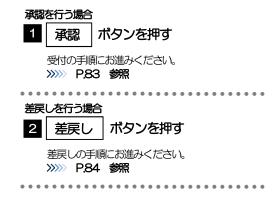
2 受付番号 リンクを押す

y ⊀€

- ▶自身が承認者(ダブル承認の場合は一次承認者または最終承認者)に指定されている取引について表示します。
- ▶承認依頼があった際、メールでお知らせします。
 - 承認依頼者からの承認依頼時
 - ダブル承認の場合、一次承認者からの最終承認依頼時
- ▶「外為トップ」画面「承認待ちのお取引」から直接遷移することも可能です。>>>> P.43 参照

2.1.3 依頼内容を確認し、 [承認] または [差戻し] を押します。





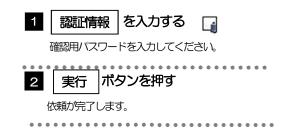
₩ ⊁E

▶依頼者が登録した添付書類 (PDF 形式ファイル) を照会できます。 >>>>> P.115 参照

2.1.4 承認を行います。

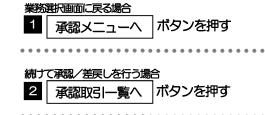
(1) 依頼内容を確認し、 [実行] を押します。





(2) 承認の完了です。





⚠ 注意

- ▶このメッセージが表示された場合、該当のお取引はお客さま社内で最終承認待ち(一次承認済み)の状態となっており、 当金庫へのお申込はまだ完了しておりません。引き続き最終承認者にご連絡のうえ、承認操作(>>>> P.81 参照)を依頼してください。(お客さまの承認パターンがダブル承認で一次承認を行った場合、さらに最終承認者による最終承認が必要となります。)
- ▶シングル承認の場合、またはダブル承認で最終承認を行った場合は、この操作で当金庫へのお申込みが完了します。 (メッセージも表示されません。)

2.1.5 差戻しを行います。

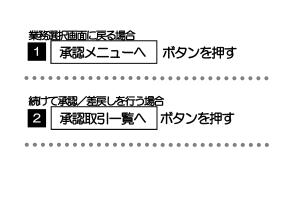
(1) 依頼内容を確認し、[実行]を押します。



差戻しする依頼内容を確認し 実行
ボタンを押す

(2) 差戻しの完了です。



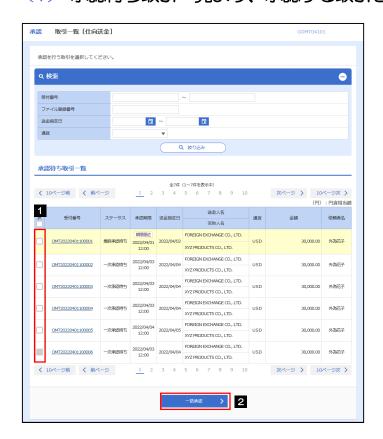


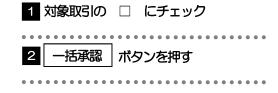
₩

- ▶差戻しを行った場合は、承認パターンに関わらず承認依頼者に対して差戻しを行います。 (ダブル承認で最終承認者が差戻しを行った場合も、一次承認者ではなく、承認依頼者に差戻します。)
- ▶差戻しされた取引は「作成中取引一覧」より修正・再依頼、または削除することができます。>>>> P.54 参照

2.1.6 一括承認を行います。

(1) 承認待ち取引一覧より、承認する取引を選択します。



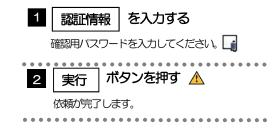


ı́ ⊁ŧ

▶一括承認が可能な取引件数は最大50件(承認待ち取引一覧の1ページあたり最大表示件数)です。

(2) 一覧の取引内容を確認し、 [実行] を押します。

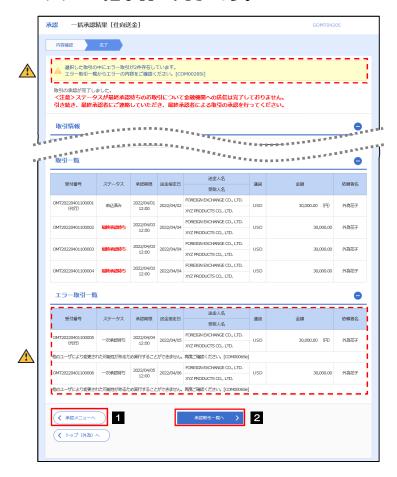


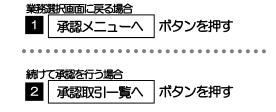


⚠ 注意

- ▶エラー取引一覧が表示されていた場合、このまま実行することもできますが、「エラー取引一覧」に表示された取引については承認されません。
 - エラー取引一覧に表示された取引については、差戻しを行ってください >>>> P.84 参照

(3) 一括承認の完了です。





⚠ 注意

- ▶「〈注意〉ステータスが最終承認待ち~承認を行ってください。」のメッセージが表示された場合は、一括承認したお取引の中にお客さま社内で最終承認待ち(一次承認済み)の状態となっている取引が含まれています。該当取引は当金庫へのお申込がまだ完了しておりませんので、「取引一覧」のステータス欄をご確認いただき、「最終承認待ち」となっている取引については引き続き最終承認者にご連絡のうえ、承認操作()>>>> P.81 参照)を依頼してください。(お客さまの承認パターンがダブル承認の場合、一次承認を行った取引についてはさらに最終承認者による最終承認が必要となります。)
- ▶シングル承認の場合、またはダブル承認で最終承認を行った取引の場合は、この操作で当金庫へのお申込みが完了します。
- ▶「エラー取引一覧」に表示された取引については、差戻しを行ってください >>>> P.84 参照

8. 各種管理

1

概要

承認パターンの設定やユーザの外為権限の設定などを行うことができます。

操作履歴 照会

ご自身の操作履歴を照会することができます。

「全履歴照会」の権限を保有するユーザは、全ユーザの操作履歴を 照会することができます。

>>>>> P.91 参照

企業情報 照会・変更

お客さま社内の承認パターンの設定を変更することができます。»»»

P.92 参照

お客さまの企業情報やご利用可能な取引メニューを照会することもできます。

外為権限 照会・変更

ユーザに設定された外為取引権限を変更することができます。

>>>>> P.94 参照

新たに追加されたユーザへ外為取引権限の設定を行うこともできます。

依頼人情報 登録

依頼人情報(仕向送金の送金人情報など)を事前に登録することができます。 >>>> P.エラー! ブックマークが定義されていません。 参照登録した依頼人情報は依頼画面などで呼び出すことで、入力の手間を省くことができます。 >>>> P.エラー! ブックマークが定義されていません。 参

照

依頼人情報 照会・変更・削除

依頼人情報は、修正・削除を行うこともできます。

受益者情報 登録

受益者情報(仕向送金の受取人情報など)を事前に登録することができます。>>>> P.98 参照

登録した受益者情報は依頼画面などで呼び出すことで、入力の手間を省くことができます。 >>>> P.100 参照

受益者情報 照会・変更・削除

受益者情報は、修正・削除を行うこともできます。

送金目的情報 登録

送金目的情報(送金目的、送金理由)を事前に登録することができます。

>>>>> P.102 参照

登録した送金目的情報は依頼画面などで呼び出すことで、入力の手間を省くことができます。 >>>> P.104 参照

送金目的情報 照会・変更・削除

送金目的情報は、修正・削除を行うこともできます。

2 操作手順

2.1 操作履歴照会

- 2.1.1 メニューを表示して、 [各種管理] > [操作履歴] > [照 会] を選択します。
- 2.1.2 操作履歴照会画面を表示して、 [絞り込み] を押します。

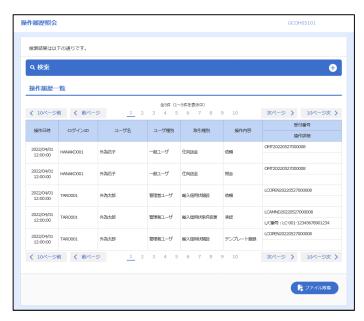




y₹

- ▶操作日が1年前までの操作履歴が照会できます。
- ▶「全履歴照会」の権限を保有するユーザは、全ユーザの操作履歴を照会することができます。
- ▶操作履歴は、最大3,000件まで表示されます。

2.1.3 検索結果の操作履歴が表示されます。

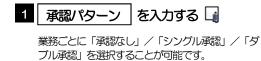


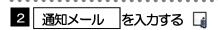
2.2 企業情報の照会・変更

2.2.1 メニューを表示して、 [各種管理] > [企業情報] > [照 会・変更] を選択します。

2.2.2 企業情報を変更し、 [内容確認] を押します。







メールの受信要否を設定します。

3 内容確認 ボタンを押す

y₹

▶承認パターンによってお取引の申込みまでの操作が異なります。(>>>>> P.10 参照)

承認パターン	説明
承認なし	お取引の申込みにあたり、お客さま社内での事前承認を不要とするパターンです。 依頼データ作成者が依頼操作を行った時点で当金庫へのお申込みが完了します。
シングル承認	お客さま社内で事前の承認を経たうえでお取引の申込みを行うパターンです。 依頼データ作成者が承認者 1 名を指定して依頼操作を行ったのち、承認者が承認操作を 行った時点で当金庫へのお申込みが完了します。
ダブル承認	お客さま社内で2段階の承認(一次承認→最終承認)を経たうえでお取引の申込みを行う パターンです。 依頼データ作成者が2名の承認者(一次承認者・最終承認者)を指定して依頼操作を 行ったのち、一次承認→最終承認操作が行われた時点で当金庫へのお申込みが完了しま す。

▶「シングル承認」、または「ダブル承認」から承認パターンを変更する際、お客さま社内で承認が完了していない取引がある場合は、承認パターンの変更はできません。

下記いずれかの対応を行ってください。

- ・承認を完了させる
- >>>>> P.80 参照
- ・承認依頼を取り下げる(引戻し) >>>> P.59 参照
- ▶ AnserBizForex のお取引に関するメールがご不用の場合、「受信しない」を選択してください。(AnserBizForex でのお取引について、電子メールでのご連絡を中止します。ただし、「受信しない」を選択した場合でも、以下の場合に限り、電子メールでご連絡します。
 - ・お客さまのお取扱い業務変更完了時

2.2.3 変更内容を確認し、 [実行] を押します。



1 実行 ボタンを押す

2.2.4 企業情報の変更は完了です。



業務選択画面に戻る場合

1 各種管理メニューへ ボタンを押す

- 2.3 外為権限の照会・変更
- 2.3.1 メニューを表示して、 [各種管理] > [外為権限] > [照 会・変更] を選択します。
- 2.3.2 権限を変更するユーザの [ログインID] リンクを押します。



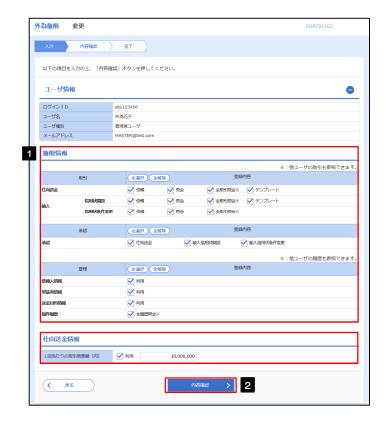


2.3.3 ユーザの情報を確認し、「変更」を押します。



1 変更 ボタンを押す

2.3.4 権限情報を変更し、 [内容確認] を押します。





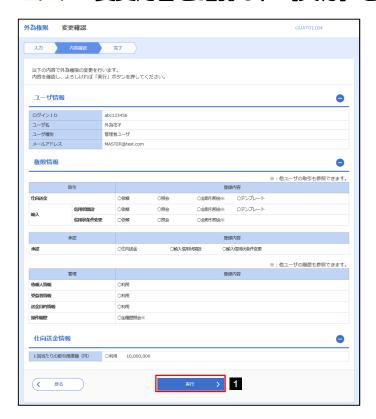
₩ ¥E

▶権限情報の登録内容欄をチェックした場合、以下の機能が利用できます。

etorhEAXX	≘×0.0	ユーザ	
登録内容	説明		管理者
依頼	対象取引の依頼データを作成することができます。	0	Δ
照会	自身が作成した取引、または自身が承認者に指定された取引を照会することができます。	0	Δ
全取引照会	他ユーザの取引を含むすべての取引を照会することができます。	0	Δ
テンプレート管理	テンプレートの登録・変更を行うことができます。>>>>> P.106 参照	0	Δ
承認	対象取引の承認操作を行うことができます。>>>>> P.79 参照	0	Δ
利用(依頼人情報)	依頼人情報の登録・変更を行うことができます。>>>>> P.エラー! ブックマーク が定義されていません。 参照	0	Δ
利用(受益者情報)	受益者情報の登録・変更を行うことができます。>>>>> P.98 参照	0	Δ
利用(送金目的情報)	送金目的情報の登録・変更を行うことができます。>>>>> P.102 参照	0	Δ
全履歴照会	全ユーザの操作履歴を照会することができます。	0	0

- △:「管理者権限分離機能」をご利用のお客さまは設定できません。
- ▶「管理者権限分離機能」とは、管理者ユーザに設定できる権限を管理系業務の操作に限定し、実際の取引に関わる操作は一般ユーザのみ利用可能とする機能のことです。
- ▶「企業情報の照会・変更」(>>>>> P.92)、および「外為権限の照会・変更」(本操作)は、管理者ユーザのみご利用可能です。(一般ユーザはご利用になれません。)

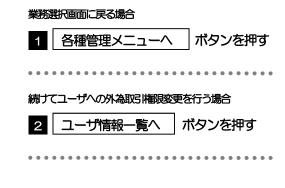
2.3.5 変更内容を確認し、[実行]を押します。



1 実行 ボタンを押す

2.3.6 外為取引権限の変更は完了です。





2.4 受益者情報の登録

2.4.1 メニューを表示して、 [各種管理] > [受益者情報] > [登録] を選択します。

2.4.2 受益者情報を入力して、 [内容確認] を押します。



1 受益者情報 を入力する

送金受取人、または信用状受益者の氏名(企業名)、住所、国名、口座番号を入力してください。

2 金融機関情報 を入力する

送金先銀行(受取人銀行)、または信用状通知銀行の BIC(SWIFT)コード、金融機関名、支店名、国名を入力してください。

※BIC (SWIFT) コードは、8 桁または 11 桁で 入力してください

3 送金目的情報 を入力する

送金目的、送金理由を入力してください。 ※送金受取人の場合のみ入力してください。(信用 状受益者の場合は不要です。)

4 内容確認 ボタンを押す

y₹

- ▶登録した受益者情報は、以下の取引で読み込むことができます。
 - 仕向送金依頼
 - 輸入信用状開設依頼
- ▶受益者情報は、お客さま社内で1,000件まで登録できます。
- ▶BIC コード(Bank Identifier Code)とは、銀行間通信網(SWIFT)において金融機関を特定するための国際標準です。

2.4.3 登録内容を確認し、 [実行] を押します。



1 実行 ボタンを押す

2.4.4 受益者情報が登録されました。



業務選択画面に戻る場合

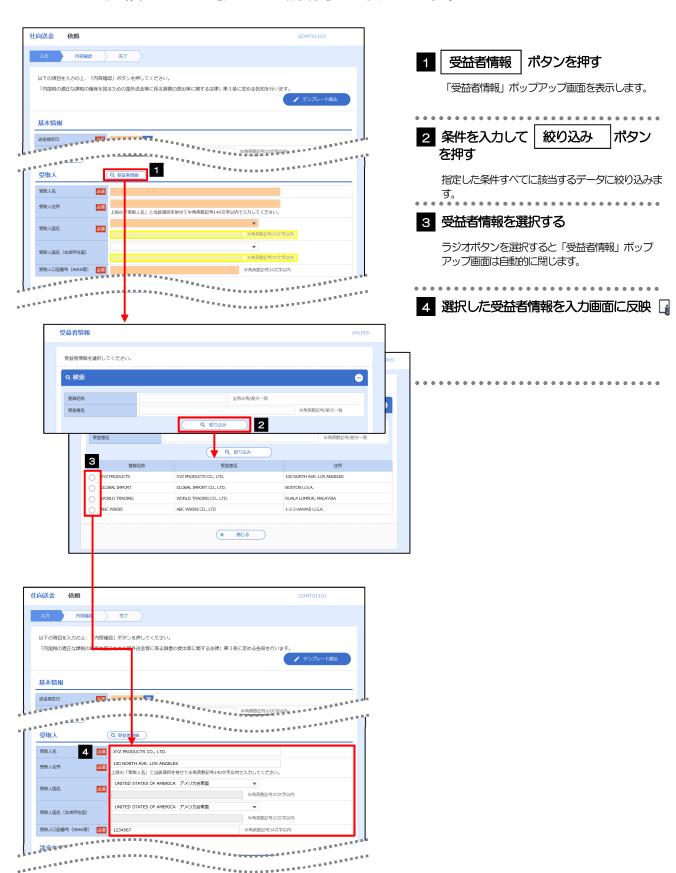
1 各種管理メニューへ ボタンを押す

続けて受益者情報の登録を行う場合

2 続けて新規の入力へ ボタンを押す

2.5 受益者情報の読込(仕向送金を例とします)

2.5.1 依頼画面で [受益者情報] を押します。





> 選択した受益者情報は、各画面の入力項目に以下のとおり読み込まれます。

W++++10	入力画面		
受益者情報 1	仕向送金依頼	輸入信用状開設依頼	
受益者情報	受取人	受益者(BENEFICIARY)	
受益者名	受取人名	受益者名(NAME)	
住所	受取人住所	国名・住所(ADDRESS)	
受取人国名	受取人国名	_	
受取人国名(本店所在国)	受取人国名(本店所在国)	_	
受取人口座番号(IBAN等)	受取人口座番号(IBAN等)	_	
金融機関情報	送金先銀行	通知銀行(ADVISING BANK)	
BIC (SWFT) ⊐-ド	BIC (SWIFT) ⊐-ド	BIC (SWIFT) ⊐-ド	
金融機関名	送金先銀行名	金融機関名(NAME)	
支店名	支店名•支店所在地	店名 (BRANCH)	
国名	国名	国名·住所(ADDRESS)	
送金目的情報	送金目的•許可等	_	
送金目的	送金目的	_	
送金理由	送金理由	_	

▶読み込んだ受益者情報を利用して、入力を続行してください。

·仕向送金依頼 [画面入力]

>>>>> P.49 参照

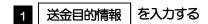
·輸入信用状開設依頼 [画面入力] >>>>> P.63 参照

2.6 送金目的情報の登録

2.6.1 メニューを表示して、 [各種管理] > [送金目的情報] > [登録] を選択します。

2.6.2 送金目的情報を入力して、 [内容確認] を押します。





登録名称、送金目的や理由を入力してください。 ※送金目的は"輸出"以外を選択してください。 ※送金目的を"輸入""仲介貿易"とした場合は、 送金理由には「具体的な貿易商品名」を入力して ください。

2 内容確認 ボタンを押す

∡ ≭€

▶登録した送金目的情報は、仕向送金の依頼画面で読み込むことができます。

▶送金目的情報は、お客さま社内で50件まで登録できます。

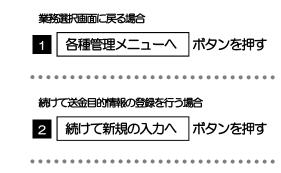
2.6.3 登録内容を確認し、 [実行] を押します。



1 実行 ボタンを押す

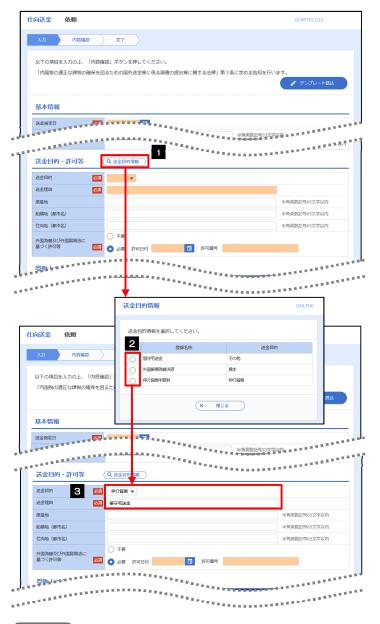
2.6.4 送金目的情報が登録されました。





2.7 送金目的情報の読込

2.7.1 依頼画面で [送金目的情報] を押します。



送金目的情報 ボタンを押す

「送金目的情報」ポップアップ画面を表示します。

2 送金目的を選択 🔓

ラジオボタンを選択すると「送金目的情報」ポップ アップ画面は自動的に閉じます。

3 選択した送金目的情報情報を入力画面 に反映

▶仕向送金依頼画面では、「送金目的」が"輸出"の送金目的情報は表示されません。

▶読み込んだ送金目的情報を利用して、入力を続行してください。

· 仕向送金依頼 [画面入力] >>>>> P.49 参照